

西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.155

災害に便乗した悪質商法に用心しましょう

6月には大阪府北部を震源とする地震が、7月には西日本の広い範囲で被害をもたらした豪雨災害が発生しました。地震や風水害などの大規模災害が発生すると災害に便乗して悪質商法や不審な電話、義援金詐欺などが発生する傾向があります。災害発生地域だけが狙われるとは限りません。下記事例のような不審な電話、来訪には十分注意しましょう。

■事例(点検商法の場合)

「お宅の屋根を無料で点検します」と言って自宅を訪問して来た人に、「点検を行った結果、このまま放置すると大変なことになります」などと言われ不安になり、高額な契約をさせられた。

■注意点

- ①建物の修理工事をもち掛けるなどの不審な訪問や電話には注意し、不要な調査や点検の申し出はきっぱり断りましょう。
- ②契約するときには工事の内容や費用についてよく確認し、必ず見積もり書類をもらいましょう。その場で契約を迫られても即決せず、家族に相談したり複数の業者から見積もりを取ったりして、十分検討しましょう。



氾濫危険水位に達し、消防団が由縁橋の水門を閉鎖(7月7日)

未曾有の豪雨を教訓として
7月5日から8日にかけて降り続いた大雨によって、浸水、土砂崩れ、冠水などの被害が市内で発生しました。被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。また、消防団をはじめ、災害警戒に従事していただいた関係者の皆さまにお礼申し上げます。
この「平成30年7月豪雨」では、経験したことのない激しい雨が、西脇市とその周辺に降り続きました。市は避難勧告や避難準備情報を発令し、気象庁においても「大雨特別警報」が発令されました。皆

さんもご存じのとおり、この警報は48時間か3時間の降雨量が、その地域で「50年に一度」あるかが判断基準の一つです。条件に違いがあるものの、データ上では平成16年に1,401戸の家屋の浸水被害があった台風時と比べて、今回は約2倍の雨が降りました。これまでの被害を教訓に、地域の皆さんと関係機関が連携して取り組んできた総合的な治水対策に一定の効果があったと言えると思います。
しかし、今回の豪雨では30件余りの浸水被害が発生しました。このような被害を繰り返さないためにどうすればいいか、課題を整理・検証しながら、地域の皆さんや関係機関とともに検討していきます。近年は局地的な豪雨が頻繁に起こっています。早めの避難にご協力ください。また、地震対策についても各ご家庭で食器棚や家具が固定されているか、点検をお願いします。

おもてなしコラム 28

西脇市では、「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。豊饒の地で生産された地域食材や地場産業などの魅力に認識を深め、郷土に誇りと愛着を持って来訪者をもてなすことで、本市のさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線 322)



イチゴの収穫シーズンを終えて

西脇市が特産化を目指すイチゴの収穫シーズンが終わりました。市がイチゴ農家を育成する「スイーツファクトリー支援事業」で2年間の研修を終えて独立就農した農家にとっては、初めてのシーズンを終えました。

昨年の秋には、台風によって市内のビニールハウスの一部が損壊しました。また、冬には気温の低い日が続くなど、さまざまな天候の影響でイチゴの生育が危ぶまれましたが、収穫量は十分に確保できました。

シーズンが始まるとインターネットのイチゴ狩りのサイトから予約がたくさんあり、1万人以上のお客さまが観光農園でイチゴ狩りを楽しまれました。また、市内の飲食店や菓子店では、市内産イチゴを使った商品が提供されるなど、徐々に市内外に西脇市のイチゴが浸透しています。

今後はイチゴ狩りに来られたお客さまが、お土産として持ち帰ることができる商品を開発し、西脇市をPRしていきたいと思えます。



▲つまこども園での公開保育の様子(6月6日)

公開保育について
他園の職員や大学教授などが公開園の普段の教育・保育の様子を参観し、意見交換を行う研修です。公開園の優れた取り組みや課題を明らかにしていく中で、より質の高い実践について学ぶことができます。また、就学前教育・保育の新しい視点や考え方、自園の取り組みの良さなどを知ることができます。

研修を通じて
昨年は日野こども園としばざくら幼稚園で公開保育を行いました。今年6月につまこども園で実施しました。公開園ではどのように教育・保育を進めていくかなど、日々の取り組みを見直しながら職員が何ども意見交換。職員たちは子どもたちの就学前教育・保育を担う者としての自覚が高まりました。

つながつていく世代の糸
先日2人の孫と一緒に、壊れて動かなくなったおもちゃ3点を修理してもらおうと、毎月第3土曜日にみらいえで開院している「おもちゃ病院」を訪れました。
作業場所の工芸室の中には、ボランティアで活動する3人の「おもちゃドクター」がいました。持ち込みは1人1点なので、3人が申込用紙を1枚ずつ書きました。私たちは、普段訪れない初めての場所に不安を感じ緊張していましたが、ドクターの丁寧な「問診」や優しい対応ですっかり打ち解け、安心しておもちゃを託しました。こどもプラザで遊んで帰るころには直っており、「治療費」は壊れたネジ代で必要な100円だけでした。
修理してもらったおもちゃは、電池で動く機関車、尻尾を振って鳴きながら動く小犬のぬいぐるみ、キラキラ光るお姫さまステッキでした。孫たちは家に帰って早速レールで機関車を走らせたり、子犬のぬいぐるみを動かしたりして遊びました。家族はかわい

い犬のしぐさやステッキを振高めています。
自分の趣味や特技によってみんなに夢と希望を与え、社会とつながっているおもちゃドクター。修理したおもちゃを孫に手渡す姿は、まだまだ現役で活躍する皆さんと、これからの時代を生きる孫との間に、世代の糸をつないでいるようでした。(人権教育課)

好きです!! にしわきわたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

就学前教育・保育の充実を目指して

公開保育を通じた職員の資質向上の取り組み

西脇市では官民が連携して、市内共通の「就学前教育・保育カリキュラム」を策定しました。カリキュラムを活用しながら、市立幼稚園と市内の認定こども園で同じ質の就学前教育・保育が受けられることを目指しています。

公開保育について
昨年4月に西脇市の新たな就学前教育・保育環境が整い、市立しばざくら幼稚園と認定こども園8園での教育・保育が始まりました。市では職員の資質向上に向けて、幼保交流研修や公開保育などさまざまな研修を実施しています。各園の職員は研修を通じて専門的知識を得るとともに、意見交換を行いながら視野を広げ、日々の実践に生かす努力をしています。

公開保育について

研修を通じて

公開保育について

研修を通じて

つながつていく世代の糸
先日2人の孫と一緒に、壊れて動かなくなったおもちゃ3点を修理してもらおうと、毎月第3土曜日にみらいえで開院している「おもちゃ病院」を訪れました。
作業場所の工芸室の中には、ボランティアで活動する3人の「おもちゃドクター」がいました。持ち込みは1人1点なので、3人が申込用紙を1枚ずつ書きました。私たちは、普段訪れない初めての場所に不安を感じ緊張していましたが、ドクターの丁寧な「問診」や優しい対応ですっかり打ち解け、安心しておもちゃを託しました。こどもプラザで遊んで帰るころには直っており、「治療費」は壊れたネジ代で必要な100円だけでした。
修理してもらったおもちゃは、電池で動く機関車、尻尾を振って鳴きながら動く小犬のぬいぐるみ、キラキラ光るお姫さまステッキでした。孫たちは家に帰って早速レールで機関車を走らせたり、子犬のぬいぐるみを動かしたりして遊びました。家族はかわい

市長からの手紙

西脇を元気に!!

55



西脇市長 片山 象二

未曾有の豪雨を教訓として

7月5日から8日にかけて降り続いた大雨によって、浸水、土砂崩れ、冠水などの被害が市内で発生しました。被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。また、消防団をはじめ、災害警戒に従事していただいた関係者の皆さまにお礼申し上げます。

皆さんもご存じのとおり、この警報は48時間か3時間の降雨量が、その地域で「50年に一度」あるかが判断基準の一つです。条件に違いがあるものの、データ上では平成16年に1,401戸の家屋の浸水被害があった台風時と比べて、今回は約2倍の雨が降りました。これまでの被害を教訓に、地域の皆さんと関係機関が連携して取り組んできた総合的な治水対策に一定の効果があったと言えると思います。
しかし、今回の豪雨では30件余りの浸水被害が発生しました。このような被害を繰り返さないためにどうすればいいか、課題を整理・検証しながら、地域の皆さんや関係機関とともに検討していきます。近年は局地的な豪雨が頻繁に起こっています。早めの避難にご協力ください。また、地震対策についても各ご家庭で食器棚や家具が固定されているか、点検をお願いします。